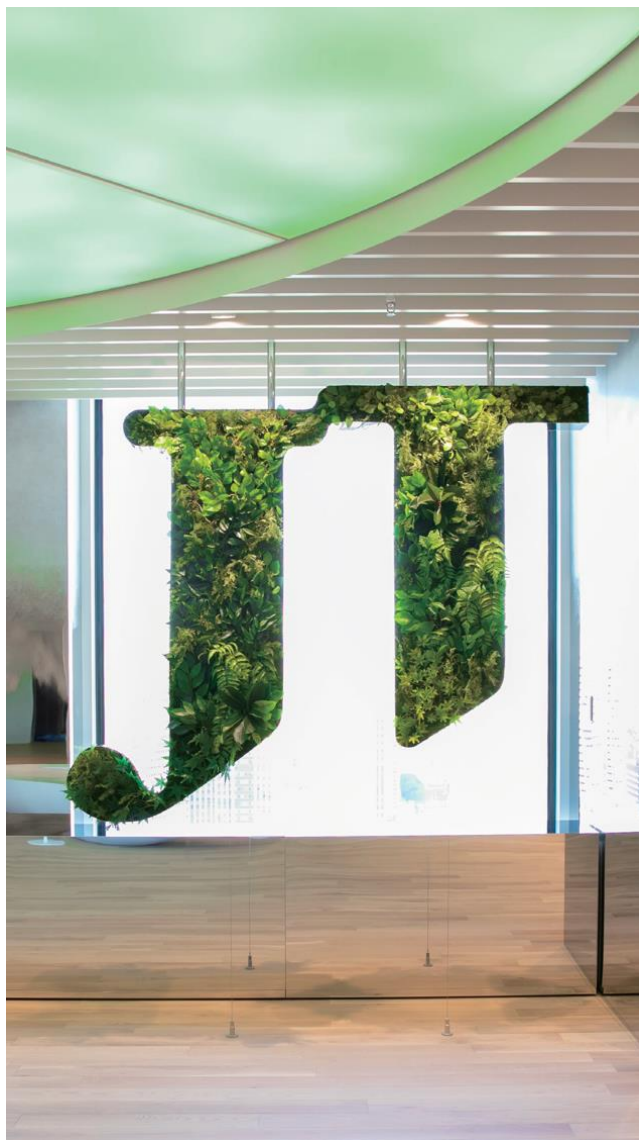




個人投資家の皆様へ

オンライン会社説明会

2024年11月

日本たばこ産業株式会社(証券コード:2914)

IR広報部長

住本 和仁

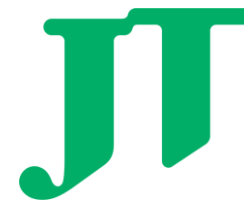
将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、
国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、
喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

- 01 JTグループの概要
- 02 経営理念・JT Group Purpose
- 03 D-LABの取組み
- 04 事業の概要
- 05 2024年度第3四半期決算・株主還元
- 06 サステナビリティ

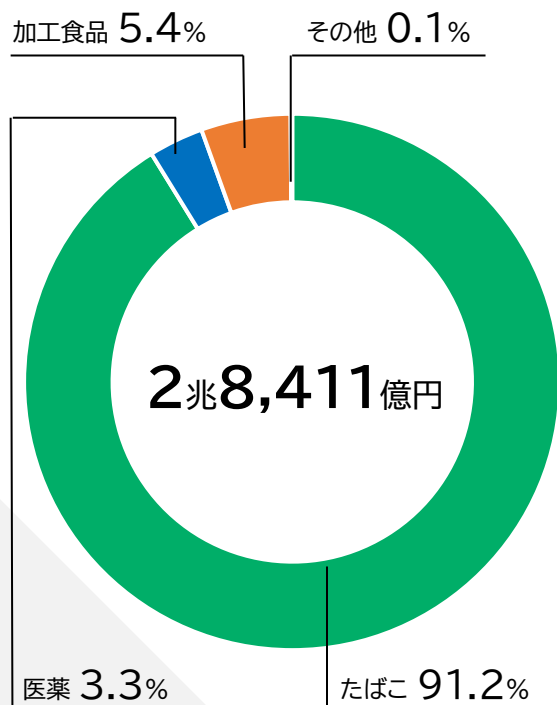
01



JTグループの概要

JTグループは、130以上の国と地域で製品を販売するグローバルたばこメーカーです。
たばこ事業に加え、医薬事業と加工食品事業も展開しています。

売上収益構成比(2023年度)



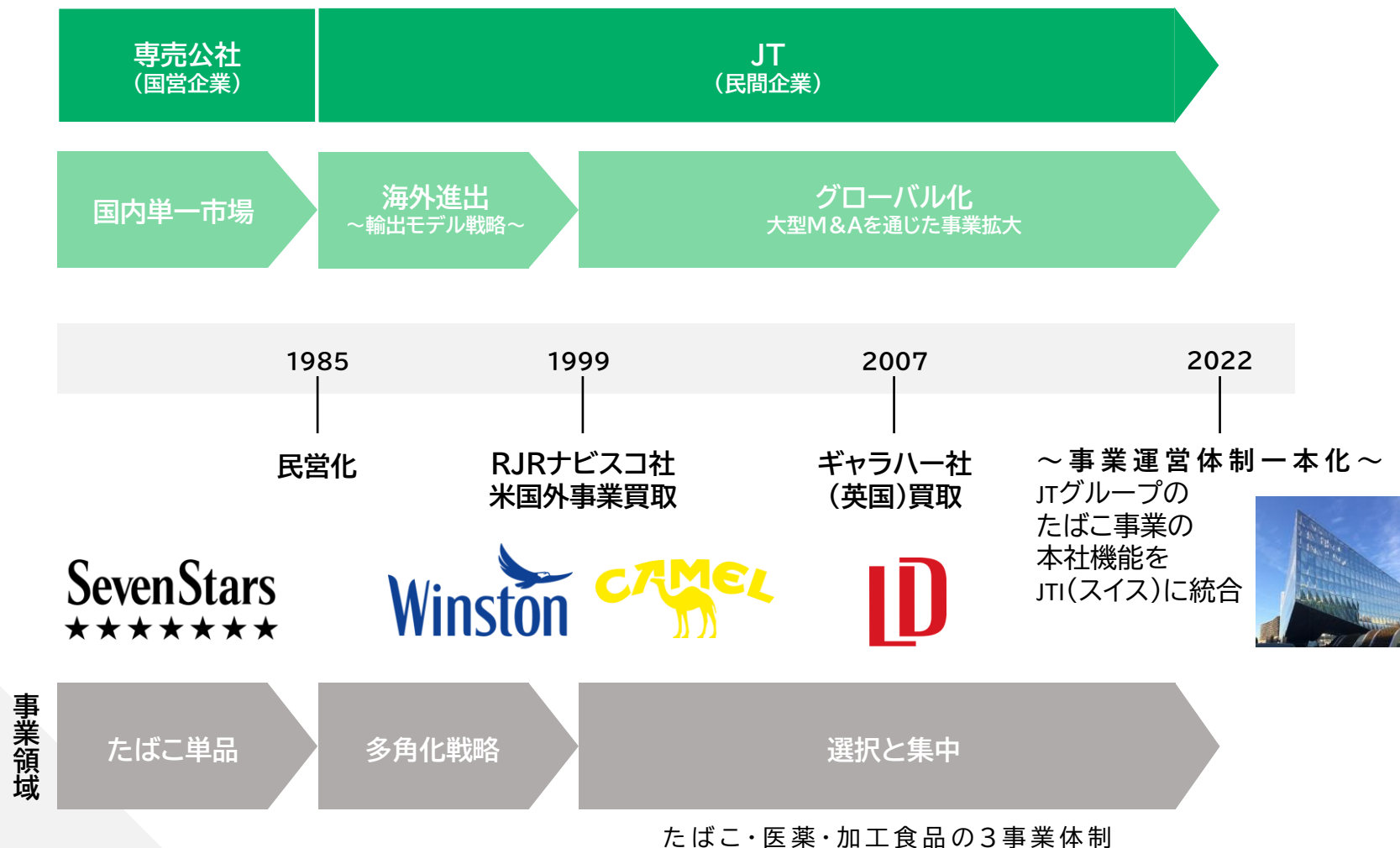
たばこ事業



医薬事業



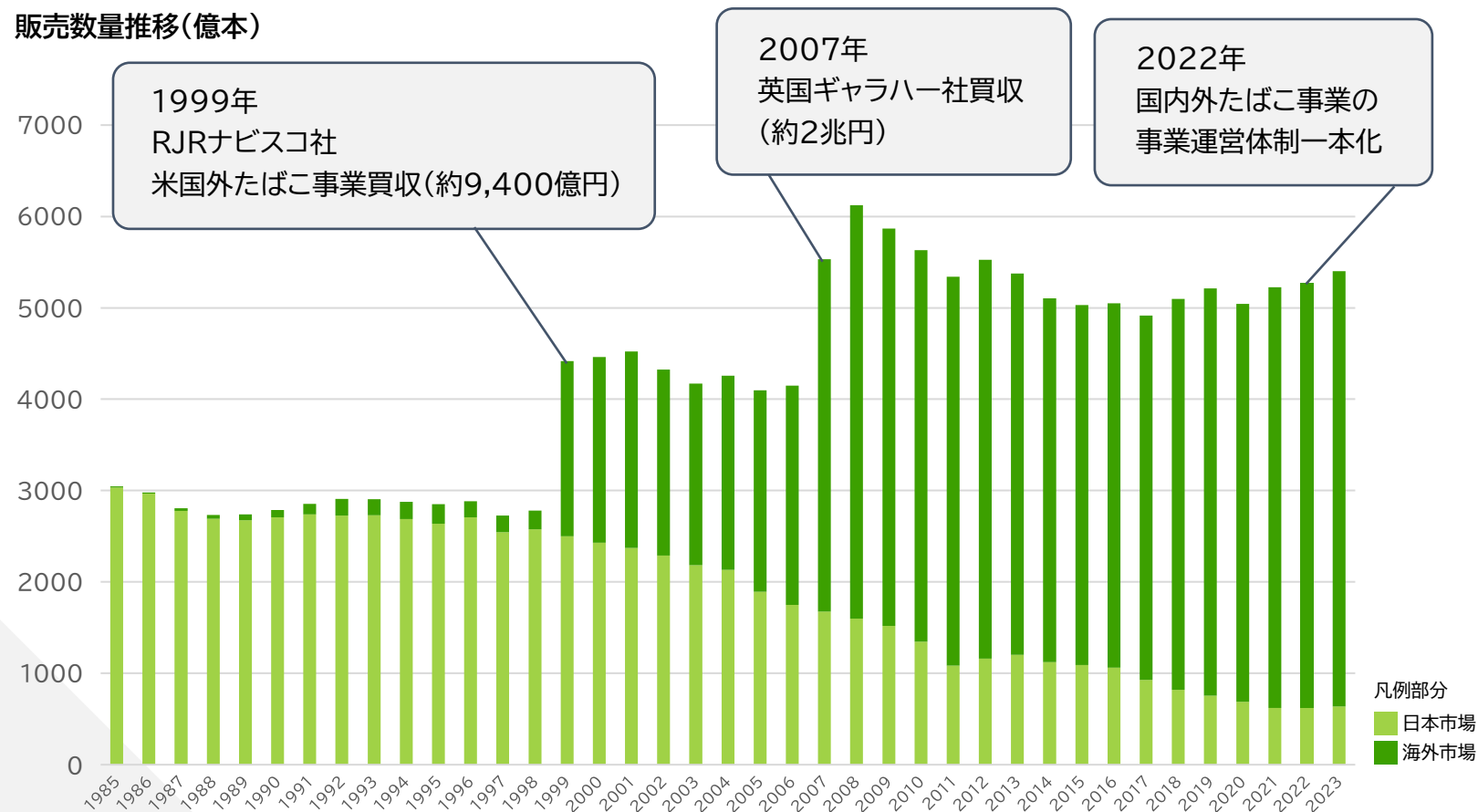
加工食品事業



※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません。

大型買収を通じたグローバル化

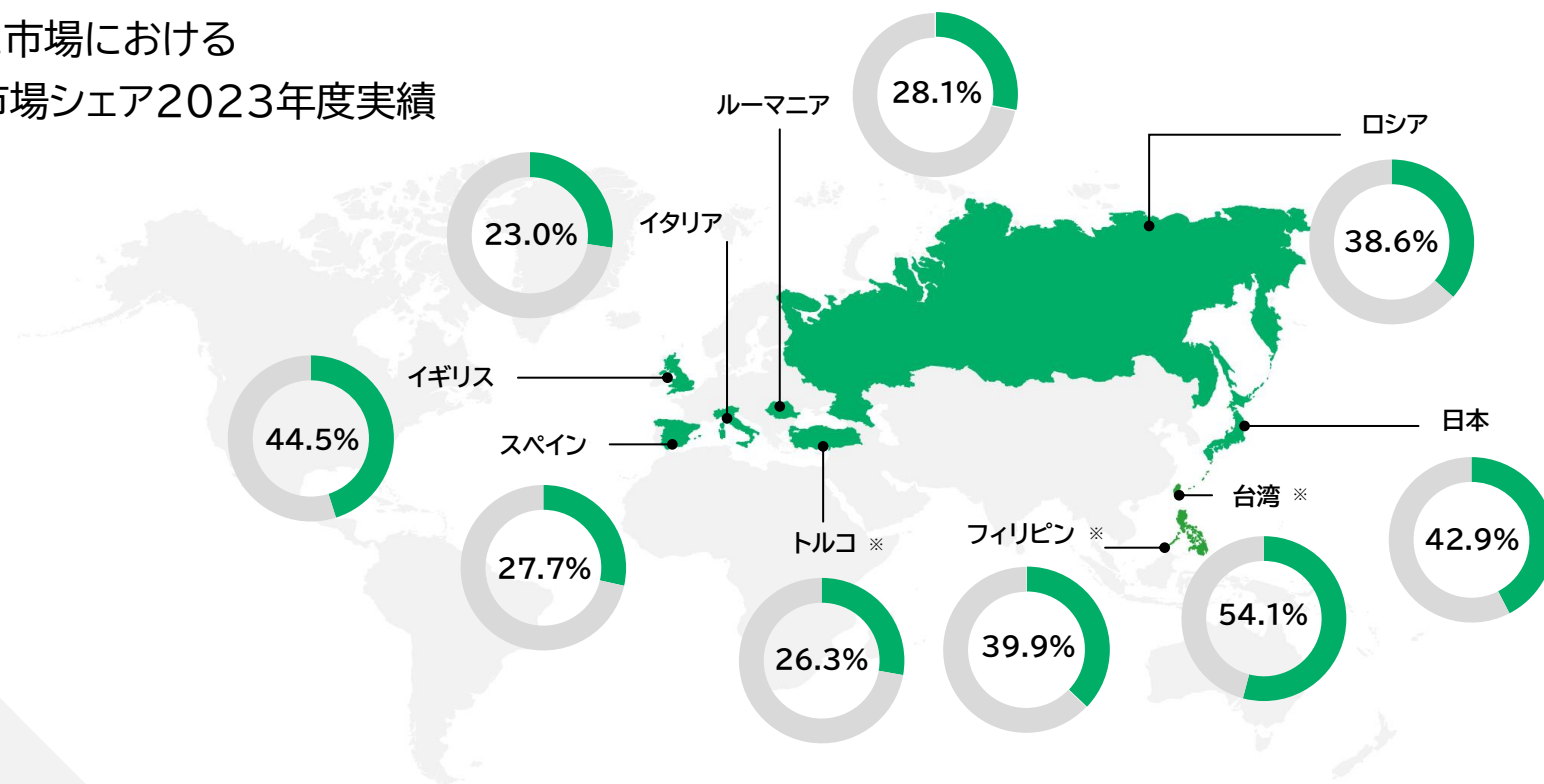
販売数量推移(億本)



出典:JT調べ

世界の主要市場で 強固なシェアを獲得

たばこ市場における
主要市場シェア2023年度実績



※フィリピンと台湾は燃焼性のたばこ製品のための市場シェア、トルコは紙巻たばこのみの市場シェアです

たばこ製品の広がり

燃焼性の
たばこ製品
(Combustibles)

紙巻たばこ
(シガレット)



葉巻
(シガー)



その他パイプ、
煙管など



RRP
(喫煙に伴う健康リ
スクを低減させる
可能性のある製品)

HTS※1
(Heated Tobacco
Sticks)



インフューズド※2



その他電子たばこ
(E-vapor)、
無煙たばこなど



※1 高温加熱型の加熱式たばこ製品

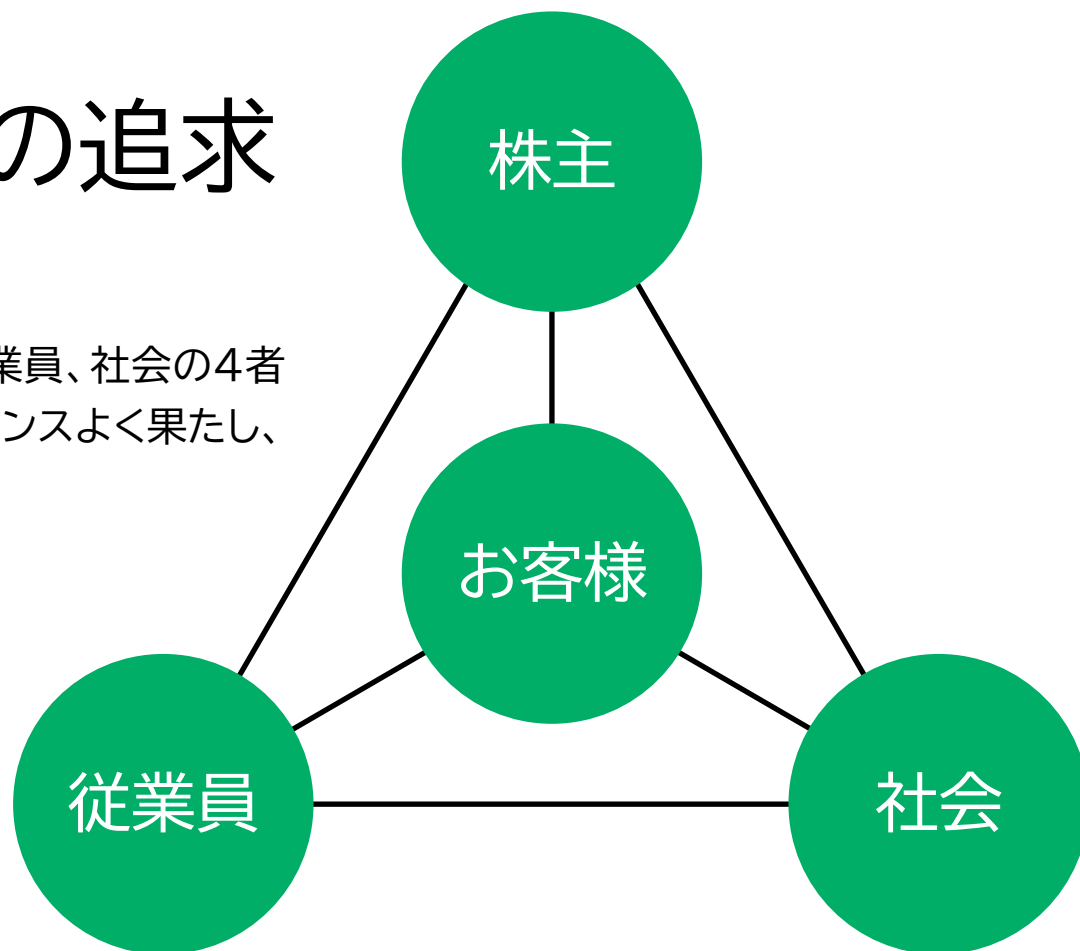
※2 液体を加熱することで発生させた蒸気をたばこカプセルに通過させ、たばこ蒸気を愉しむ製品

経営理念・ JT Group Purpose

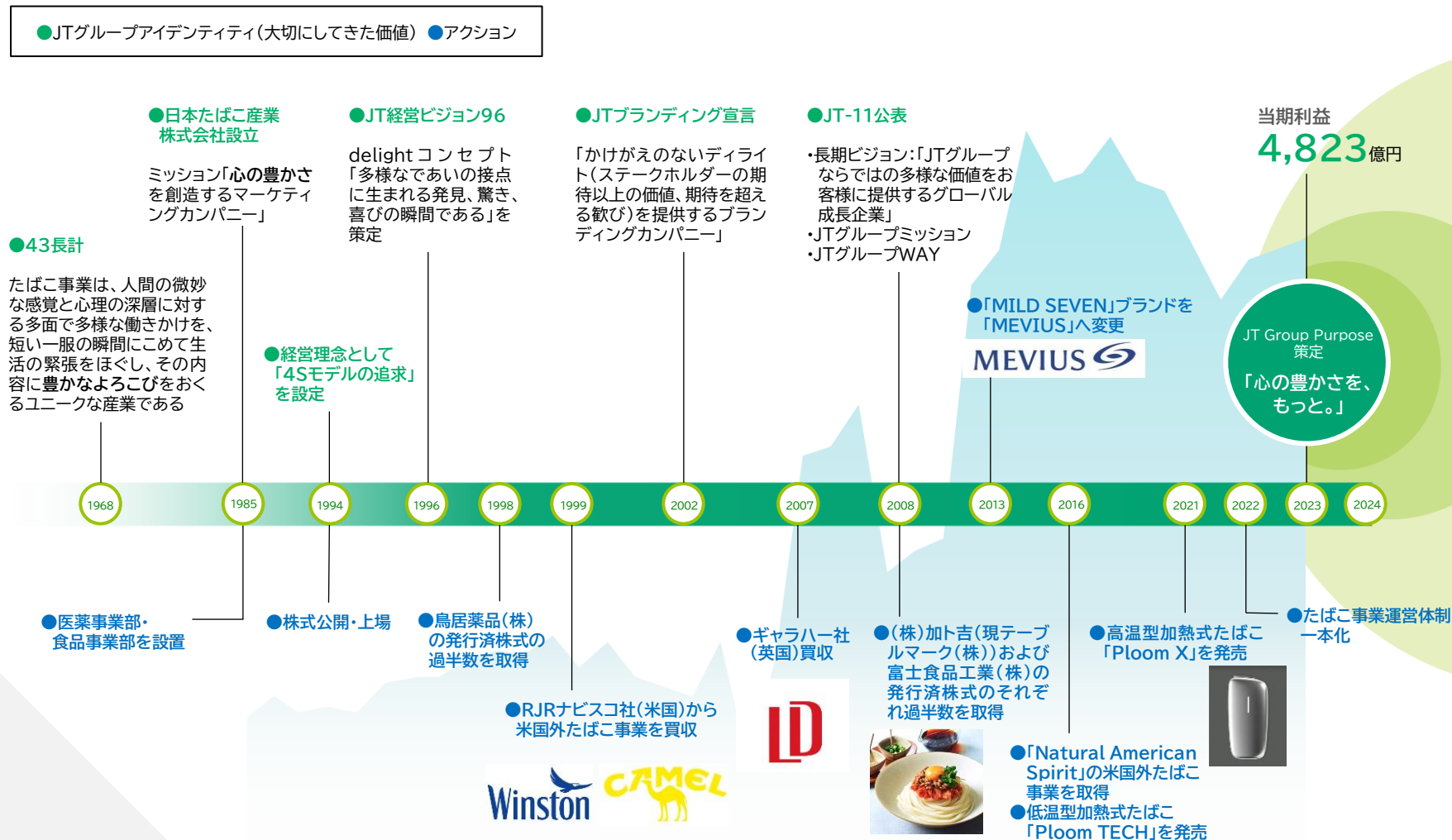
「4Sモデル」の追求

企業理念

お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者
に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、
4者の満足度を高めていく

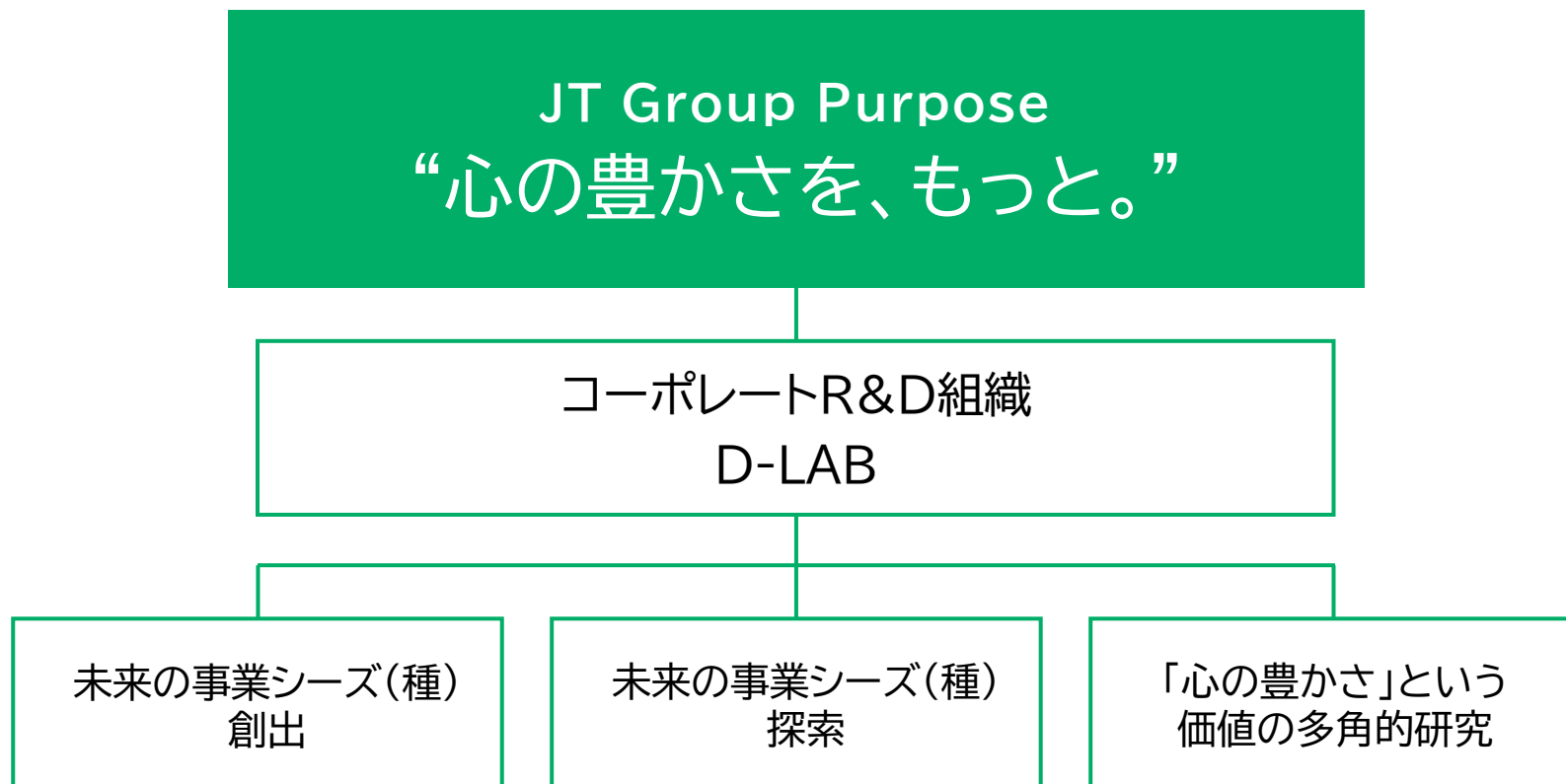


心の豊かさを、
もっと。



※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません。

D-LABの取組み



長期視点で社会の「心の豊かさ」を育むことに貢献し、
JT Groupの利益成長への貢献も目指す

花王「オフィスめぐリズム」と JT「呼吸する休憩所」のコラボ



事業共創プラットフォーム 「THINK SPACE LIFE」への参画



事業の概要

全社為替一定の調整後営業利益：
中長期に亘る年平均 一桁台半ばから後半の成長実現

JT Groupの利益成長の
中核かつ牽引役

たばこ事業

燃焼性のたばこ製品における売上高の成長
及びHTSへの優先的な投資

- 成長投資の実行及び燃焼性のたばこ製品における収益性の継続的な改善
- HTSを最優先としつつ、他のRRPカテゴリにおいても選択的な投資を実施
- 組織力の強化

JT Groupの
利益成長を補完

医薬事業

次世代戦略品の研究開発
及び各製品の価値最大化

加工食品事業

収益性の高い
トップライン成長の実現

Creating fulfilling moments, Creating a better future.

燃焼性のたばこ製品 売上高の最大化と収益性の向上

- ✓ 継続的なシェア獲得
- ✓ 価格戦略機会の最大化
- ✓ 投資規律の強化



※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません。

Creating fulfilling moments, Creating a better future.

RRP

HTSへの集中的な経営資源の投入

- ✓ Ploom Xの地理的拡大
- ✓ 組織力の強化
- ✓ HTSとは異なる製品の探索

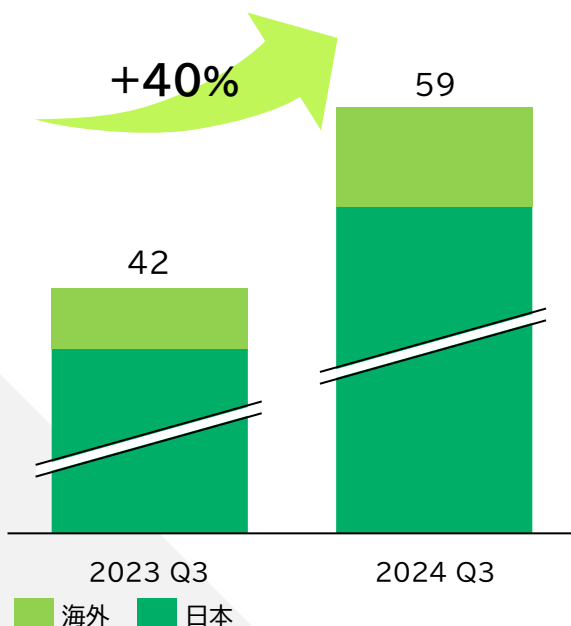


※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません。

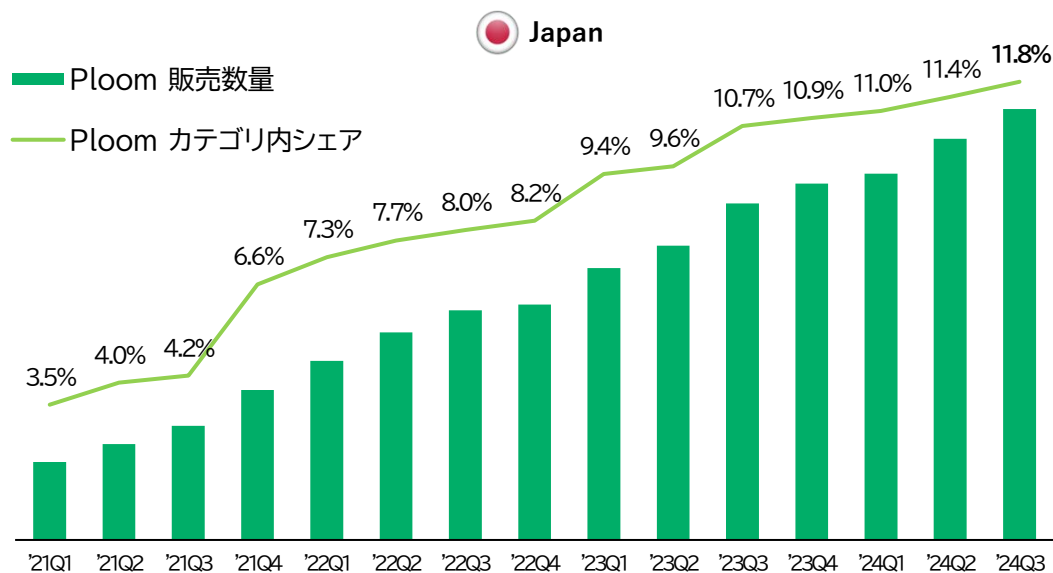
- ✓ Ploom展開市場は現在24市場。10月からフィリピン、ヨルダン、11月から韓国で販売を開始
- ✓ 市場数の拡大及び各市場における継続的なマーケティング施策の実施により、Ploom販売数量は着実に伸長
- ✓ Ploom販売数量の増加に伴い、RRP関連売上収益も前年同期比約22%増加

Ploom 販売数量(1-9月累計)

(単位:億本)

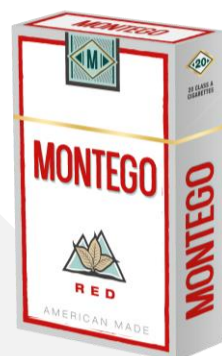


PloomのHTSカテゴリ内シェア※1



※1:四半期ベースのカテゴリ内シェア

- ✓ 燃焼性のたばこ製品における収益性の改善
- ✓ 米国市場におけるプレゼンスの拡大
- ✓ 財務基盤の強化



科学、技術、人財を大切にし、
患者様の健康に貢献します。

次世代戦略品の研究開発及び
各製品の価格最大化

- ✓ 創薬力の向上とユニークな
パイプライン構築
- ✓ 国内市場における収益基盤強化
- ✓ 中長期的な事業基盤最適化による
生産性向上



食事をうれしく、食卓をたのしく。

収益性の高い
トップライン成長の実現

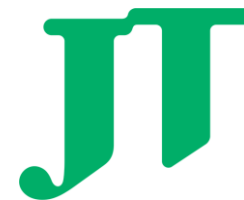
- ✓ 事業環境変化に対応した価格改定施策の着実な遂行
- ✓ 高付加価値な商品群への資源配分の強化
- ✓ 中長期的視点での事業成長に向けた取組みの加速



富士食品工業株式会社



05



2024年度第3四半期決算・株主還元

(億円)	2024年 1-9月	前年同期比
為替一定ベース		
Core revenue	22,140	+6.8%
調整後営業利益	6,817	+2.6%
財務報告ベース		
売上収益	23,933	+11.0%
調整後営業利益	6,725	+1.2%
営業利益	6,366	+0.8%
四半期利益	4,424	+0.1%
FCF	2,605	▲1,598

注:IAS第29号超インフレ会計の適用に伴い、上記の表に記載の財務報告ベースの実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について、一定の算定方法を用いて控除しています。

(億円)	2024年度 見込	前年度比 増減	前年度比
為替一定ベース			
Core revenue	29,535	+975	+8.2%
調整後営業利益	7,740	+290	+6.3%
財務報告ベース			
売上収益	31,635	+545	+11.3%
調整後営業利益	7,460	+360	+2.5%
営業利益	6,880	+280	+2.3%
当期利益	4,670	▲80	▲3.2%
FCF	1,560	▲2,200	▲2,877

注:IAS第29号超インフレ会計の適用に伴い、上記の表に記載の財務報告ベースの見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースについては、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の通年の増加分について、一定の算出方法を用いて控除しています。

強固な財務基盤※¹を維持しつつ、中長期の利益成長を実現することにより
株主還元の向上を目指す

株主還元については、一株当たり配当金を中心とする

資本市場における競争力ある水準※²として、配当性向75%を目安※³とする

自己株式の取得は、当該年度における財務状況及び中期的な資金需要等を
踏まえて実施の是非を検討

※¹ 経済危機等に備えた堅牢性、及び機動的な事業投資等への柔軟性を担保

※² ステークホルダーモデルを掲げ、高い事業成長を実現しているグローバルFMCG(Fast Moving Consumer Goods)企業群の還元動向をモニタリング

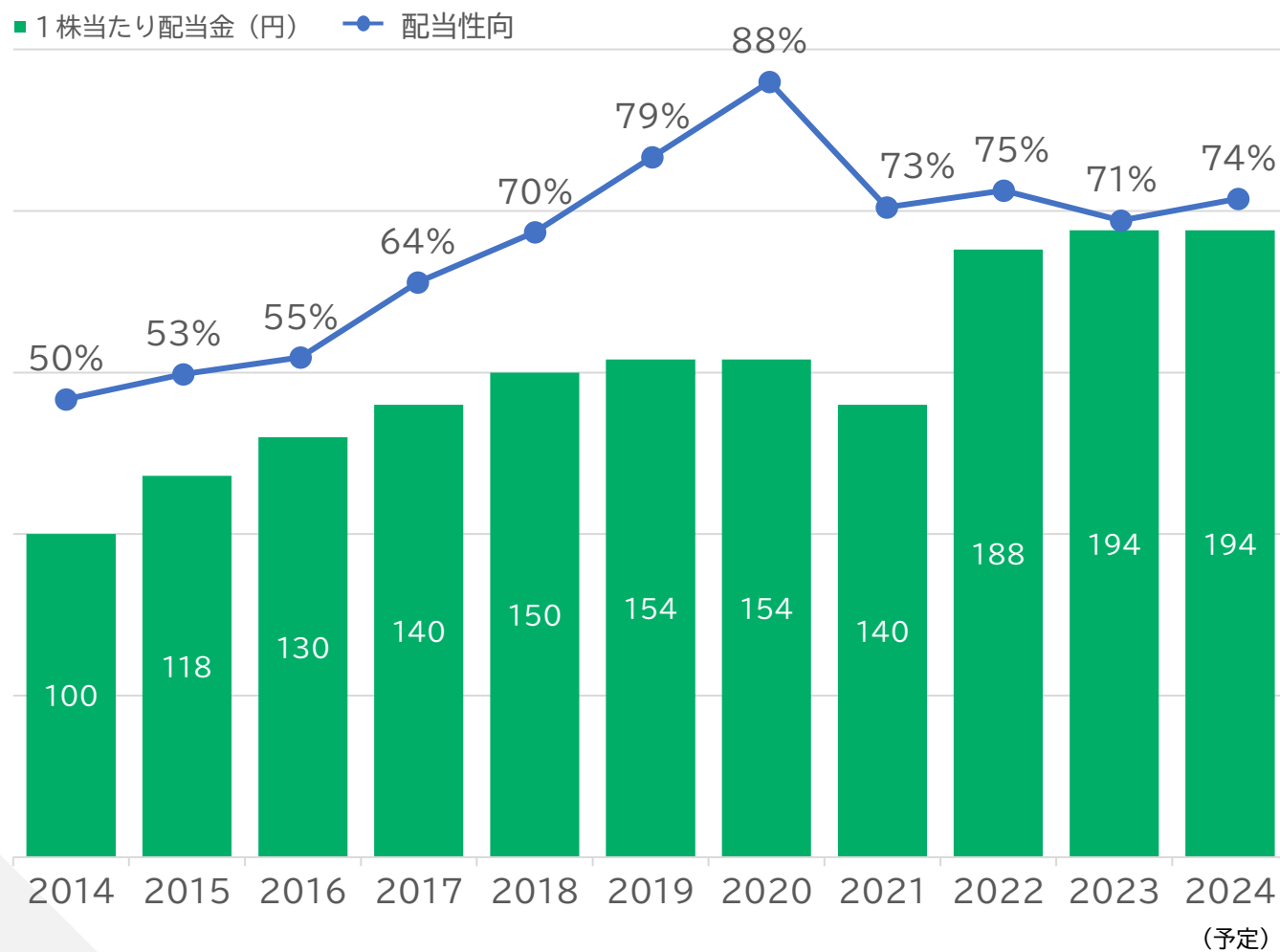
※³ ±5%程度の範囲内で判断

一株当たり

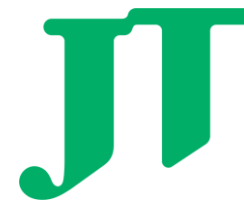
年間配当金は
194円(予想)

中間配当97円
期末配当97円(予想)





06



サステナビリティ

JTグループの
存在意義

JT Group Purpose

JT Group
Purposeの実現に向け、
JTグループが優先的に
取り組む重要課題

JT Group Materiality



自然との共生



お客様の
期待を超える
価値創造



人財への投資と
成長機会の提供



責任ある
サプライチェー
ン
マネジメント



良質な
ガバナンス

JT Group
Materialityを踏まえた、
JTグループの具体的な
目標および取り組み

JT Group Sustainability Targets

ターゲット項目(全25項目)

JT Group Materiality

自然や社会と人の暮らしはつながっており、自然や社会が持続可能であってはじめて、人の暮らしや企業の活動も持続可能となります。

JTグループはJT Group Purposeの具現化を通じて持続可能な自然や社会づくりに貢献していくために、以下のマテリアリティ(重要課題)に取り組んでいきます。



自然との 共生

自然環境に与える影響の改善に向けた取り組みを通じて、自然と人や企業の健全な関係性を保全



お客様の期待を 超える価値創造

お客様の期待を超える多様な製品・サービスを創出



人財への投資と 成長機会の提供

人財の多様性に着目した成長支援を含む人財への投資や、多様な個性がその能力を最大限発揮できる組織風土の醸成を通じた人的資本の拡充



責任ある サプライチェーン マネジメント

人権尊重や自然環境保全など多様化する社会課題への適切な対応を通じ、事業環境の急激な変化に耐えうる持続可能なサプライチェーンを構築



良質な ガバナンス

さまざまなステークホルダーの満足度を高め、信頼される企業体であり続けるためのガバナンスの充実

JT Group Sustainability Targets



生態系影響評価の実施



温室効果ガス排出量の削減



再生可能エネルギーの活用



責任ある水資源マネジメント



森林資源の保全



廃棄物による環境負荷の低減



製品および容器包装リサイクル



持続可能な農業



RRP展開市場の拡大

リスク低減に係る
科学的知見の発信

未成年者喫煙防止対策

FIC(ファースト・イン・クラス)
医薬品の創出

フードインクルージョンへの貢献



DE&Iの推進



人財の戦略的な確保



働きやすい環境の整備



心身の安全・健康の推進



自律的な成長の支援



社内外との共創の促進

サプライヤースクリーニングおよび
デュー・ディリジェンスの推進

たばこ農家の生活収入



児童労働を含む人権モニタリング



グリーバンス・メカニズム



コミュニティインベストメント



事業特性に即した内部統制

JT Group Sustainability Targetsの詳細は、JTウェブサイトをご覧ください。
<https://www.jti.co.jp/sustainability/index.html>

温室効果ガス排出量の削減



バタンガス工場(フィリピン)

バタンガス工場(フィリピン)では、東南アジア最大規模を誇る約17,000枚の太陽光パネルを導入し、温室効果ガス排出量を約15%、年間で6,887トン削減

児童労働を含む 人権モニタリング



Sauzawana Primary School(マラウイ共和国)

児童労働撲滅に向けたARISE※プログラムを実施。本プログラムにより学校に通えるようになった児童数は66,825人(2011-2023年)

コミュニティインベストメント



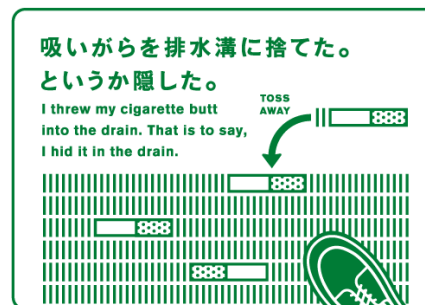
JTの森(全国9か所)

全国9か所の「JTの森」において、従業員自らが参画し、元気な森づくりを支援する活動を実施

※ ARISE: Achieving Reduction of Child Labor in Support of Education

マナー向上のための啓発活動

- ・マナー広告展開
- ・ひろえば街が好きになる運動

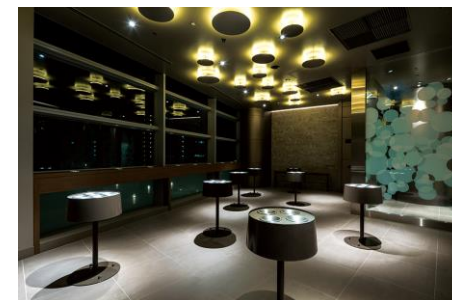


たばこを吸われる方と 吸われない方、 双方に配慮した分煙の取組み

- ・分煙コンサルティング活動
- ・分煙環境整備

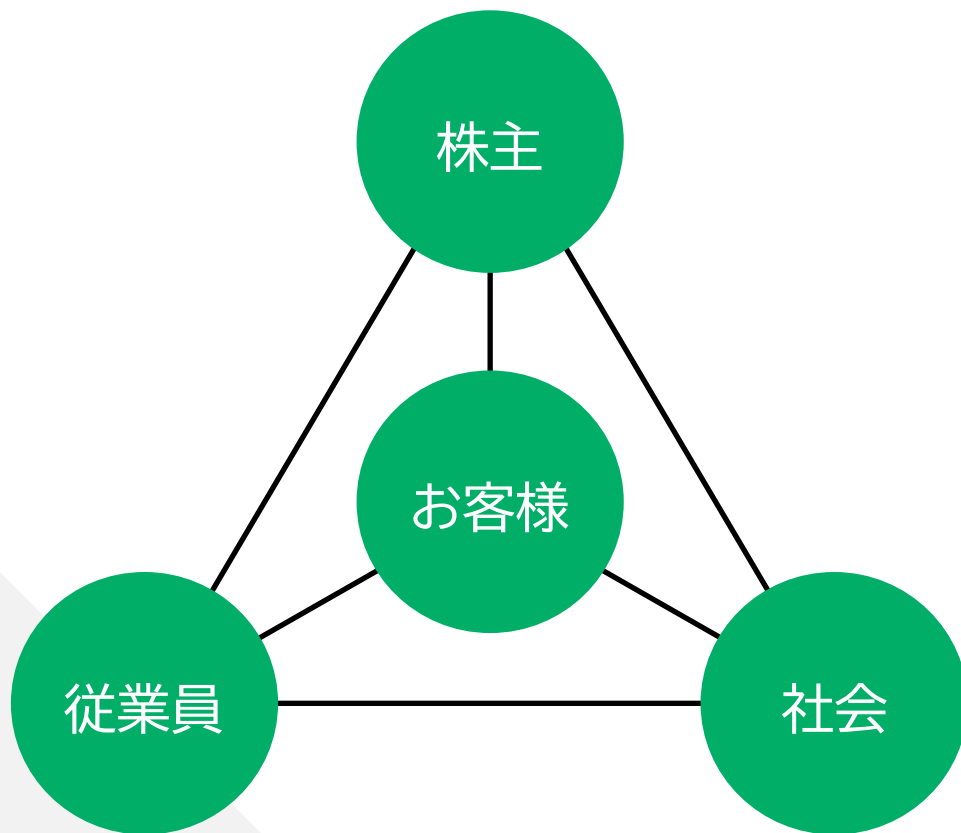


錦糸町駅北口喫煙所



虎ノ門ヒルズ内喫煙所

4Sモデル



JT Group Purpose

心の豊かさを、
もっと。

(参考)IRサイトのご紹介

当社ホームページにて、JTグループをより深くご理解いただくためのIR情報を発信しております。

JT IRサイト

URL <https://www.jti.co.jp/investors/>



JT IRサイト 個人投資家の皆様へ

URL <https://www.jti.co.jp/investors/individual/>



JT IRサイト 用語集

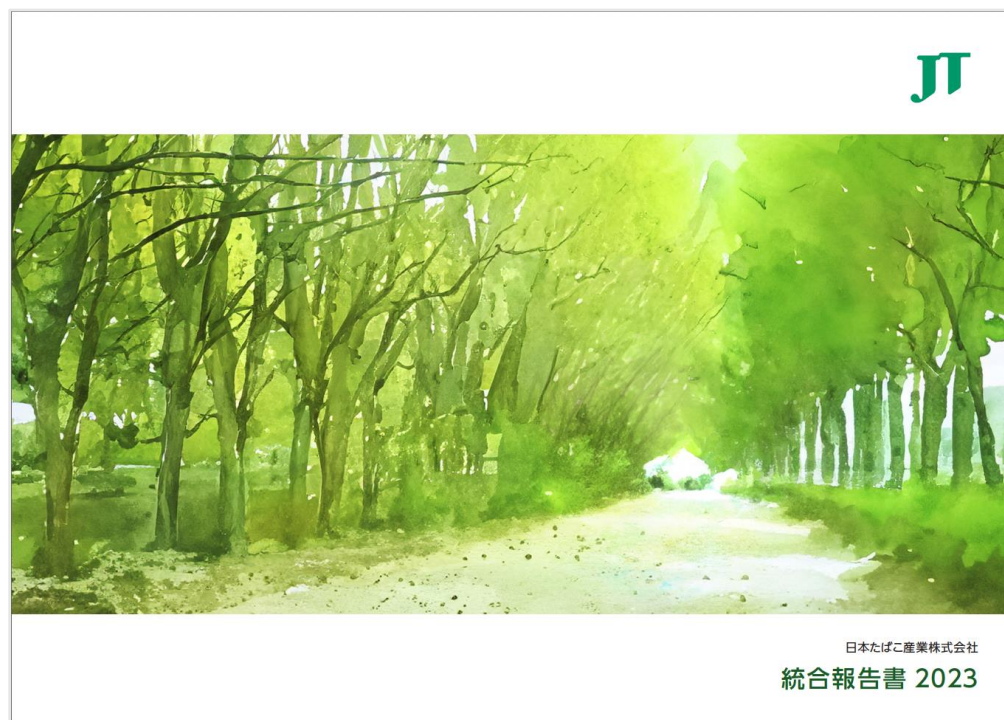
URL <https://www.jti.co.jp/investors/individual/glossary/>



(参考) 統合報告書のご紹介

株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様へ、JTグループの持続的な企業価値向上に向けた取組みについてより分かりやすくご理解いただくために、財務情報・非財務情報をあわせて掲載した統合報告書を発行しております。

最新版の「統合報告書2023」を発行しておりますので、是非ご覧ください。



URL <https://www.jti.co.jp/investors/library/integratedreport/>

男女バレーボールチーム
広島サンダーズ／
大阪マーヴェラス



将棋日本シリーズ
JTプロ公式戦／
テーブルマークこども大会



バレーボールチームや将棋日本シリーズの活動は、
JT MOVIE CHANNEL、JT公式YouTubeでもご覧いただけます。